



令和6年度 国立市立国立第三小学校 学校経営方針

ver.令和6年10月10日

学校教育目標

「思いやりのある子」

○人、環境、地域を大切にす気持ちを表す行動力

「考え実行する子」

○蓄えた知識や技能を活用して諸問題を解決する力

「健康でたくましい子」

○心身の健康と自他の安全を目指す実践力

学校づくりのキーワード **ほめて伸ばす チーム三小 地域との連携** を掲げて、諸活動に取り組む

学校づくりのキーワード

ほめて伸ばす

できない「負の部分」を正すよりも、できている「自慢の部分」やできそうな「努力の部分」を伸ばす。そのことで、「負の部分」が見えなくなったり改善されたりしてくる。できる→ほめる→できる…の連鎖により、学習や生活に最も必要な自己肯定感を高める。

プラスの連鎖でプラスを生み出す「ほめて伸ばす」を、共にやりきる。

学校づくりのキーワード

チーム三小

プラスの連鎖をつくることのできる学校や教員には、子供も保護者も信頼を寄せる。そして、

- ・うまくいったことを共に喜び関係に
 - ・困り事を相談したり共に解決したりする関係になる。
- 教職員、保護者、何十年も想いを寄せていただいている地域の方も仲間にした「チーム三小」が固まってくると、やりたいことに自らの時間をかけられる「働き方改革」にも繋がっていく。

学校づくりのキーワード

地域との連携

三小の誕生をしたときから現在まで支えていただいている
・三小地区育成会 ・旭通り商店街
の方々を中心とした協力体制は本校の教育資産である。
机上の学習だけでなく、地域をフィールドにした質の高い学びを展開するためには、保護者や地域の方の協力は不可欠である。
2年後に控えたコミュニティ・スクールに向けて、「手伝ってもらおう」という関係ではなく、
地域と学校が支え合う関係を構築する。

フルインクルーシブ教育への一歩

○互いを尊重し合う人権教育の推進

- ・人権課題を知る機会を各学年に位置付けて実施します。
- ・共に学びながら、互いのよさを認め合う関係を築いていきます。

○その子らしくいられる場の構築

- ・別室指導の活用を効果的に行っていきます。
- ・配慮を必要とする子を中心においた学習や活動を展開します。

○活動の交流、指導の共有

- ・「ひまわり学級」との共同及び交流学習の積極的に行っていきます。
- ・「はばたき」教室で指導方法を各学級に取り入れていきます。
- ・SSと担任による個への支援の協働を、さらに、推進していきます。

コミュニティ・スクールの土台づくり

○地域との関わりの推進

- ・地域の施設や人材を積極的に活用して、関係をつくっていきます。
- ・地域行事への参加や見学をいっそう啓発していきます。

○保護者との連携強化

- ・ゲストやボランティアとして、積極的に参加していただくようにします。
- ・活動の協働を通して、チーム力を高めていきます。

○今ある関わり強化、推進

- ・頼りにしている「A.S.S.」での学習を、さらに、進めていきます。
- ・東学童、ほうかごキッズ、サッカーアカデミーや陸上教室など、子供の放課後を支えてくださる方との協働を、さらに進めていきます。

働き方改革の推進

○教員のやりたいことに費やす時間の確保

- ・対応力を高めて、子供や保護者に寄り添う「チーム」をつくっていきます。
- ・高学年での教科担任制で生まれた空き時間を、有効的に活用します。
- ・会議の精選と効率化を模索しながら推進します。
- ・行事の内容の見直しとともに行事の準備も効率よく行います。
- ・ICTの利点を生かして、確実かつ効率的な校務を行います。

○教員自身の意識改革

- ・在校時間の超過分を、1日2時間以内にします。(月45時間以内)

一人1台端末の日常化

○授業での日常化の推進

- ・思考を表出するコミュニケーションツールとして
- ・個に応じた探究学習のツールとして
- ・外からの情報と仲間の考えを得るツールとして
- ・ドリル的な活用で習熟を高めるツールとして

○家庭学習等での日常化の推進

- ・「クラスルーム」での学級紹介や連絡帳として
- ・宿題でのドリル的な学習として
- ・英語に慣れ親しむ学習として(2年生)

学び方の「基礎・基本」の定着

○「学びたい」と思える授業づくりの推進

- ・「価値ある問い」を取り入れた学習意欲の高揚
- ・伝達型、ドリル型から探究的な学習を中心に
- ・教科担任制(5・6年生)で、授業の質の向上を

○「わけをそえて」を合言葉にした授業づくりの推進

- ・理由を問う授業から生まれる対話に価値を追求!

○地域人材や施設等を活用した学びの推進

- ・「地域の資産」の活用で学びの質の向上を!

自己肯定感の向上と集団づくり

○互いを尊重し合う人権教育の推進

- ・人権的な課題に各学年に応じて知る、触れる。
- ・「あいさつが自慢の学校」をみんなで目指す。

○話し合いができる学級づくりの推進

- ・学級活動(話し合い)を全てのクラスで上達を!
- ・「学級会」の方法や流れを教職員と児童が習得

○共に高め合う体力向上の推進

- ・長縄、短縄、ジョギングを個と集団で高める。

「安心・安全」の場である学校

○未然防止、早期発見を基本とした「いじめ対策」

- ・Q-Uと構成的グループエンカウンターを活用した未然防止
- ・「いじめ」の兆候の早期発見と「いじめ対策会議」による組織的な早期対応

○計画的な「防災訓練」「交通安全」「生活安全」

- ・地域との協働での防災訓練の開催(1月)
- ・学年に応じた交通安全訓練の実施
- ・メール配信による生活安全に関わる情報共有